

2018 年 5 月 10 日

エスアールジータカミヤ株式会社

## グリーンハウス事業譲受、福岡に拠点設立 九州の農業分野に本格進出 足場のノウハウ活かし 5 月から本格営業開始

足場をはじめとする仮設機材の販売・レンタルを行うエスアールジータカミヤ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長：高宮一雅）は、農業用フィルムの製造販売、グリーンハウス事業を行うサンテラ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：大屋 滋）から、グリーンハウス事業を 2018 年 4 月 16 日に譲受しました。これに伴い、当社は福岡県久留米市に『久留米営業所』を開設し、5 月 7 日より九州での農業分野へ本格営業を開始いたしました。



### アグリ事業強化

当社は、建設用仮設機材のノウハウを活かした、強くて低コストが特長の農業用グリーンハウス（パイプハウスおよび鉄骨ハウス）を 2017 年 3 月より販売開始し、アグリ事業に参入しています。アグリ事業のさらなる拡大成長を図るため、当社は、サンテラ株式会社から、グリーンハウス事業を 4 月 16 日に譲受しました。また、アグリ事業で九州地区へ本格進出するため、拠点となる『久留米営業所』を久留米市に開設し、5 月 7 日より営業開始しました。

サンテラ株式会社は、1955 年の設立以来、日本の農業に役立つ事業を行っています。近年では、農業用フィルムの製造加工・販売に注力しており、特に九州地区の農業分野で強いネットワークを持っています。

当社とサンテラ株式会社との農業関連事業における協力体制は、今後も継続するため、当社は同社のグリーンハウス事業を取得するとともに、九州地区への本格進出を実現していきます。

### 足場のノウハウを農業に

農業用ハウスは、栽培環境をコントロールすることで、品質のよい作物を安定して収穫することができます。しかし、従来の農業用ハウスは台風・突風・大雪などの自然災害に弱く、農業従事者の高齢化や離農による人手不足により、倒壊した場合などの復旧に時間がかかるという問題もありました。異業種ながら、当社はこれらの課題に着目し、独自の農業用ハウスを開発しました。

当社の農業用グリーンハウスは、建設用仮設機材の開発でつちかった構造計算ノウハウや、独自の金属加工技術がフルに活かされており、高い耐候性を持っていることが特長です。

また、ハウスの建設や、万一の修繕に関しても、当社が持つ全国 60 社以上の工事会社ネットワークを活かし、迅速かつ施工コストを抑えて対応することができます。

当社の農業用グリーンハウスは、優良な施設資材の開発・普及を図る協会「一般社団法人 日本施設園芸協会」の構造診断を受け、認証を得ています。

## **日本の農業に貢献**

当社が建設用仮設機材の開発でつちかった技術とノウハウは、多様な事業に応用できるもので、これまでも太陽光パネルの設置架台や木造住宅用制振装置などに活かしてきた実績があります。当社の製品開発力や工事会社ネットワークは、仕入れ・生産・施工すべてのコスト面においても活かすことができるため、さらなる改革が求められている日本の農業、そして生産者の経営強化に役立てることができると考えています。

エスアールジータカミヤ株式会社は、今回の事業譲受と『久留米営業所』設立をもとに、今後も農業法人から個々の農家まで、全生産者が抱える生産コストなどの問題の低減に努め、日本の農業を強くする基盤づくりに貢献してまいります。

### **【久留米営業所概要】**

所在地 福岡県久留米市城南町 12-26 ブランシェ城南 G 号室  
電話 080-2409-1057  
設立 2018 年 4 月 9 日（営業開始日 2018 年 5 月 7 日）

### **【会社概要】**

社名 エスアールジータカミヤ株式会社  
代表 高宮 一雅  
本社所在地 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪タワーB27 階  
ホームページ <http://www.srg.jp/>  
設立 1969 年 6 月 21 日  
資本金 7 億 3,109 万円  
従業員数 646 名（連結従業員数 1,110 名）  
事業内容 仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル、仮設工事の計画、設計、施工

本件に関するお問い合わせ先	
エスアールジータカミヤ株式会社 広報 IR 室 担当：川畑、森川 TEL:06-6375-3918 E-mail：pr@srg.jp	エスアールジータカミヤ株式会社 広報事務局 担当：毛利（080-9874-4857） TEL：03-5411-0066 E-mail：pr@netamoto.co.jp